

両生類

ようせい すいちゅう せいたい すいちゅう りくじょう

幼生は水中で、成体は水中や陸上で生活する脊椎動物。成長により呼吸の方法も変わり、幼生はえらで、成体は肺や皮ふで呼吸をする。



KU

□ニホンアマガエル(カエル目アマガエル科)
樹上性のカエルで、水辺の植物の周りでよく見られる。灰色や茶色などさまざまな体色の個体が存在する。



□アズマヒキガエル(カエル目ヒキガエル科)
背中にイボがある大きなカエル。繁殖期以外は水辺から離れた雑木林などでも見られる。



□ヌマガエル(カエル目ヌマガエル科)
体色は灰褐色のまだら模様で、背中には小さなイボがある。背中の中央に白い線模様が入る個体も見られる。



□ニホンアカガエル(カエル目アカガエル科)
指に吸盤をもたないため、地上で生活する赤茶色のカエル。ほかのカエルより早い1月頃から卵を産み始める。



□ウシガエル(カエル目アカガエル科)
「ブオーブオー」と牛のような鳴き声をする大きなカエル。食用に持ちこまれた北アメリカ原産の外来種。

どく ちゅうい カエルの毒に注意!

みぢか み

身近に見られるヒキガエルやアマガエルにも皮ふの粘液には毒が含まれています。

触るだけでは問題ありませんが、カエルを触った手で目をこすったり、食べ物を食べたりすることはやめましょう。

また、カエルが毒を分泌するのは、自分の身に危険を感じたときです。乱暴に持ったり、つかんだりするのはやめましょう。

どく

やせい

さいきん

つ

ばあい

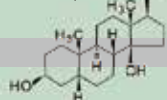
☆毒だけではなく、野生のいきものには細菌やウイルスなどが付いている場合があります。

いきものに触ったあとはしっかりと手を洗うように心がけましょう。



ヤマカガシ

どく
ヒキガエルの毒
(ブフォキシン)



どく
ヤマカガシはヒキガエルがもつ毒を
食べて奪い、自分の身を守る毒としています。



アズマヒキガエル